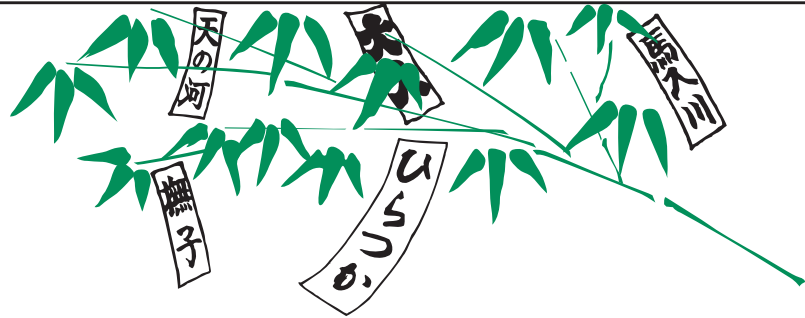




2012～2013年度 国際ロータリーテーマ
Peace through Service
「奉仕を通じて平和を」



HIRATSUKA R.C. WEEKLY

- 会長 小飯塚立雄 ● 副会長 鳥海衡一 ● 幹事 清水雅広 ● 会報委員長 関口幸恵 (2012～2013年度) E-mail: hiraturc@ma.scn-net.ne.jp
- 例会日 毎週木曜日 12:30～13:30 ● 会場 グランドホテル神奈中 平塚2F ● 事務局 平塚市松風町2-10 平塚商工会議所内
- 四つのテスト 1. 真実かどうか 2. みんなに公平か 3. 好意と友情を深めるか 4. みんなのためになるかどうか

第2888回 2013年4月11日 グランドホテル神奈中 週報第2888

本日の卓話者ご紹介

株式会社原田伊三郎商店
代表取締役 原田 伊三郎 会員



卓話

自己紹介

株式会社原田伊三郎商店
代表取締役 原田 伊三郎

昨年6月に当平塚ロータリークラブに入会致しました原田伊三郎です。私の平塚ロータリークラブ入会のスポンサーは北岡明様、清水孝一様です。

本日は自己紹介という形で卓話をさせて頂きたいと思っております。

■ (1949年11月17日) 誕生 (昭和24年)

私は1949年(昭和24年)、利根川の畔(ほとり)、千葉県香取郡大須賀村の生まれです。母には私が2歳半の時死なれ、父は留守がちでしたので、幼少期の私たち兄弟(兄、姉、私)は祖父に育てられました。大須賀村はほどなく大栄町となりましたが、今では味気のない大合併で成田市に編入されていることを最近知りました。戸籍上の誕生日は役場の転記ミスで11月19日になっています(笑い)。

■ (1965年) 高校入学 (昭和40年)

小学校1年の夏、突然帰郷した父に連れられ私たち兄弟は祖父から引き離され、横浜に移住させられました。それから私たち一家は関東地方を転々とし、私が小学6

年の秋、父の遅めの再婚(これは戸籍上のことで、実は何度目かの再々婚)で川崎に落ち着き、そこから中学・高校と同一住所から連続して通えるようになりました。川崎市立中原中学より県立多摩高校に第10期生として進みました。

■ (1968年) 大学入学 (昭和43年)

大学は西千葉にある国立千葉大学(理学部数学科)です。ただし学業は語学を少々、あとは無為に青春時代を過ごしていました。5年間在籍し、卒業できず(自主的に)中退を致しました。その後は短い間横浜寿町で沖仲士のような仕事をしたりトラックの運転手をしたりした後、横浜・東京で輸出関連・国際複合輸送等の業務に15年ほど携わりました。その後も仕事は輸出一本やりです。

■ (1976年8月25日) 結婚 (昭和51年)

妻は多摩高校2年1組の時見染めた旧姓寺川真理さんです。5年半のブランク(流浪の期間)を超え、社会保険のある会社に就職したのを契機に結婚しました。私が26歳、早生まれの妻は25歳でした。妻は親類からマリちゃんマリちゃんと呼ばれ大層祝福されました。

結婚式での兄の祝辞は、「イサプロウは幼少の頃、親戚のおばさんたちの前で『オラあ、大きくなったらおんなあもらうだ』と放言し、一同大笑いした」

というものです。

■ (1978年) 平塚へ (昭和53年)

平塚には35年在住、長男誕生に合わせ少し広い家を求めて港区高輪のエンゼルアパートから高村団地に越してきてからです。その間二年間だけ岡山県に住んだことがあります。今は神奈川県住宅供給公社・若宮ハイツに住んでおります。

■ (1989年) 株式会社アイメックス・入社 (昭和64年)

世界に冠たるトナーメーカー(複写機・プリンター)の株式会社アイメックス(本社平塚・代官町、当時は西八幡)の北岡社長は私の以前の上司で、私は神戸大震災

<出席報告>

本日	4月11日	会員数	63名	対象者	57名	出席者	47(42)名	出席率	75.81%			
前々回	3月28日	会員数	64名	対象者	58名	出席者	43(39)名	出席率	69.35%	MUP 5名	計 48名	修正率 77.42%

の直前まで5年間ほど、その下でおもに海外取引担当として勤めさせて頂きました。給料は当時破格の待遇で、きっと平塚という土地で英語や貿易に詳しい人材がなかなか見つからなかったのが幸いしたのかと思います。

当時はバブル崩壊と言われていましたが、アイメックス社は業績好調で、我が家の家計もお陰様で大分好転致しました。高校生の長男から、生まれたばかりの二女まで一家6人、何の不安もなく坦々と過ごせた時期でした。為替はドル140円前後でした。

そうしてアイメックス社に慣れて来た頃、社内である事件が起きました。社員有志で社員会(労働組合)を作ろうということになったのです。私は通知書を社長に提出しました。私の粗暴な振る舞いもあり、社長はそれを許しませんでした。少しの期間もめましたが当時の常務さんのとりなしもあり、何かを口約束させられましたが結局許して頂きました。

しばらくして私は岡山の工場に生産計画課長として転勤になりました。それまで私は係長(最年長係長)だったので課長は栄転だと思っていたのですが、どうもそうでないらしいということは後で分かりました。

■ (1996年) 再び平塚へ (平成7年)

終の棲家と思い岡山に中古で家を買うも工場勤務に慣れることなく、工場はまる一年で辞め、仕方がなく岡山市で見よう見まねで始めた輸入商社も大失敗、為替はドル90円を割る時期で輸入がもてはやされる時代でしたが、長男はじめ家族には大変な不安を与えることになりました。銀行や友人に多額の借金を残し、このままでは破滅あるのみと妻を家の近くの喫茶店に呼び出し事業をたたむ決意を伝え、家売って借金をすべて清算し一家で平塚に戻りました。

岡山から2台の車で夜通し走り、平塚に着いたその日の朝はみなで公園で顔を洗いました。職安で仕事を見つけました。それが現在のタイヤ業界に足を踏み入れる契機でした。

タイヤ業界で従業員として働きつつ、趣味はと言えば囲碁三昧で毎日を浪費していた頃、ある人との出会いがありました。碁会所で出会った曾我達夫さんです。この方は湘南中学(現在藤沢市・県立湘南高校)を出た方で、戦後は家業の豚肉の仲買業に従事しつつ、「山村工作隊」で活動し、後にスーパー「曾我の屋」や養豚の「曾我の屋農興(株)」を興した方です。「イノベーション」(改革)が口癖で、農協の合成飼料は使用せず、自前の飼料や無臭の養豚場を考えるなど、当時の農政とは独自に事業の改革をした方です。自由党の、(自自公時代の)、特に小沢一郎氏の信奉者で、(そこだけは私が少し違和感を持ちましたが)、豚肉の買い付け方を革新したり、符丁で値段をあらわす商慣習を打破したり、後々の私のビジネスに影響を受けました。

■ (2001年) 株式会社原田伊三郎商店創業 (平成12年)

タイヤ業界に入ってから5年、タイヤ輸出会社の大手2社を経て2001年に独立、中古タイヤ輸出専門商社・株式会社原田伊三郎商店(英文名:Japan Casings, Inc.)として今日に至っております。創業時は預金残高9万円でしたが、海外の有力顧客(マレーシア・Pionner社、香港・Kingston社)の支援で自転車操業ながら徐々に事業の基盤が整って参りました。

このタイヤ業界で知り合った方で、私のもう一人のスポンサーは、神鋼産業株式会社の清水孝一社長です。自動車メーカー、タイヤメーカー、旅客・運輸会社、各自治体を取引相手として首都圏南部を中心に手広くタイヤリサイクル事業を行っている神鋼産業さんには弊社草創期、先代の清水孝さんの頃からいろいろとお引き立て頂きました。そして伊藤忠から神鋼産業の代表取締役役に転じた二代目の清水孝一さんとも親しくさせて頂いております。その清水さんと北岡さんが湘南三田会(慶応同窓会)でつながっていたことで、光栄にもあるところで北岡社長に10数年ぶりで遭遇することになりました。

■ (2012年6月) 平塚ロータリー入会

このお二方のご縁で私は平塚ロータリーに加えて頂き、皆様に会えて嬉しい今日この頃です。

本日は限られた時間の中で私の人生のほんの数コマをお話しさせて頂きました。

What A Wonderful World ♪

ご静聴ありがとうございました。

<メイクアップ>

5名

升水一義、清水雅広、柳川正人
鳥海衡一、白石慎太郎 会員

<ゲスト・ビジター>

0名

<本日のスマイル>

15名

<卓話・行事予定>

4月25日(木) 第8グループガバナー・エレクト
桐本美智子会員

5月9日(木) 入会記念卓話 近藤 学会員

16日→22日(水) 春の家族会

23日(木) 平塚警察署 署長 鳥海保弘様

30日(木) ロータリーの友

編集長 二神典子様

<市内例会変更>

*現在ございません